

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1) 法人の理念「愛の精神」をドリームの基本理念とする 2) 多様化した就労形態により夜間に及ぶ時間帯でも安心して働けるよう支援する（家族） 3) 子どもの最善の利益を考え、生活を質的に保障した保育を行う（子ども） 4) 地域の方の子育てと一緒に考え、支援するパートナーを目指す（地域） 5) 親・子ども・地域それぞれの視点で考え、子育て・保育を支援する力を高める（職員）</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割 やさしさ、協調性、向上心</p> <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 様々な家庭の事情を考慮し、利用者の視点で考え、行動する 自己中心的な保育を疑い、子どもと心を通い合わせる柔軟な保育を目指す</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	アイデアいっぱい、遊び心いっぱいの環境が整えられています
	内容	従来は0歳児室とワンフロアの2つの部屋で子どもたちが過ごしていましたが、子どもにとってより快適な空間となるよう職員たちが話し合い、専門の設計家に依頼してレイアウトを変更し、中央の広いスペース、4、5歳児の部屋、0歳児の畳スペース、ミニハウス、ロフト、ランチルームなどができました。また、パーティーションでも遊べる工夫があったり、キッチンコーナー、トンネルなどには遊び心のあるアイデアが随所に見られます。こうした環境のもと、子どもたちは自由に好きな場所を選び、のびのびと、落ち着いて過ごしています。
2	タイトル	職員を多く配置して、保育時間の長い子どもに対応しています
	内容	当園は、0歳児から5歳児まで定員各5名の小規模な保育園で、保護者の就労状況を勘案して、延長時間を含めると夜の12時までに行っている夜間保育園です。子どもたちが長時間を園で過ごしますので、園長は子どもたちにとって一番大切なのは、職員たちと直接触れ合うことだと考えています。したがって、職員の配置人数を多くして、夕食や入浴、睡眠などについては、子どもが家庭で過ごすときと同じような環境に整えて対応するように、職員一人ひとりが心がけています。利用者調査では、こうした園の配慮や職員に対して感謝の声が多数届いています。
3	タイトル	園長が保護者との個別面談を実施し、より保護者の心情に沿った保育を心がけています
	内容	園長は、夜遅くまで子どもを預かるという夜間保育所の特性を踏まえ、保護者との良好な関係を築き、園と保護者の両輪で子どもの保育にあたるのが特に大切だと考えています。保護者の心情や要望などを直接聞くために個別に園長面談を実施しています。以前は、希望者のみ対応していましたが、現在は保護者全員と面談できるよう保護者に呼びかけています。面談では保護者の家庭での状況や子どもの様子、要望などを聞き取り、記録しています。面談で把握した内容は職員に周知させ、保護者とのより良い関係作りを目ざしています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	理念、保育方針、保育目標は同じように記載しておくことを期待します
	内容	当園の理念や保育方針は園内に掲示してあります。また、保護者には園だよりの配付の際に、理念や方針が記載された文書も配付し、周知するようにしています。ただ、書類によっては、理念や方針だけだったり、保育目標だけだったり記載の方法の統一がとれていません。園の根幹をなす理念や保育方針、保育目標は、保育課程、入園のしおり、パンフレットなど、どの書類を見ても同じように記載しておいた方が職員も保護者もより理解しやすいでしょう。今後は書類を点検し、同じ様式で掲載することを期待します。
2	タイトル	園の実情に合わせて、年間の研修計画を立てていくことを期待します
	内容	夜間保育という性格上、職員の勤務もシフトによっては深夜になることも少なくなく、園内研修や園外研修の機会を多くすることは難しい状況があります。ただ、園内研修や園外研修は保育の質の向上のためには欠かせません。幸い、職員からは「忙しいけれど研修を受けて自己の保育の質を上げたい」という声が少ないからありません。また、園長もそういった声を生かしていこうと考えています。今後、どのようにしたら無理のない研修受講が可能か職員同士で話し合い、取り組んでいかれることを期待します。
3	タイトル	マニュアルの整備と職員への周知徹底を望みます
	内容	園には、防犯・防災、個人情報保護、苦情解決制度、虐待対応など各種マニュアルのほかに、嘔吐処理や清掃点検、けがの応急処置など実際の手順などが多数作成されています。これらのマニュアルや手順書は1冊の「保育マニュアル」として綴じられています。園にはこの保育マニュアルのほかにいくつかのマニュアルありますが、職員一人ひとりに配付されていないため、いつでもすぐに見て対応するには課題が残ります。今後は、各種マニュアルの整備とともに、手順について職員へより周知徹底する方法の検討が望まれます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	豊かな言葉の獲得のために絵本や紙芝居を毎日活用しています	
内容①	園では、子どもたちが自分の思っていることを言葉で表現する力をつけることが大切だと考えており、豊かな言葉の獲得のために、保育に絵本や紙芝居を積極的に取り入れています。毎日、絵本の読み聞かせや紙芝居を行っています。連絡帳には、その日に読み聞かせを行った絵本のタイトルや紙芝居のタイトルを記載し、保護者にも知らせるようにしています。園ではこの活動を継続することは子どもの言葉の獲得に大きく貢献すると考え、今後も継続していくことを全職員で話し合っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている
タイトル②	年間を通して多彩な行事を実施しています	
内容②	園の年間行事のひとつにキャンプがあり、4歳児、5歳児、卒園児1年生、学童児それぞれに一泊のキャンプを行っています。テーマを設けて、例えば4歳児はネイチャー遊び、5歳児は川遊びやキャンプファイヤーなど年齢ごとに活動内容に工夫を凝らしています。また、運動会は2種類あり、2歳児までは小運動会、全園児合同で大運動会を行っています。5歳児による「仲よし発表会」では、マーチングバンドや体操などを披露しています。さらに、縁日ごっこやもちつき大会、お店屋さんごっこ、クリスマス会など年間を通して多彩な行事を実施しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	● あり ○ なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

当園の夜間保育としての理念、保育方針、保育目標があります

園の理念は、「いっしょっていいね」という主題のもと、目ざす保育について2項目を掲げています。保育方針は「子どもの最善の利益のもとに育児と仕事の両立支援を目ざし、多様化した女性の就業形態により夜間に及ぶ時間帯でも安心して働けるよう支援する」を主題のもと3つの具体的な方針、保育目標は「生命を大切に子ども」をはじめとした3項目を明示しています。職員には、園長が年2回の個人面談の際に、保育全般と夜間保育の考え方を伝え再確認しています。保護者には、4月の園便りと理念や方針を記載した文書を配付しています。

日常的に園長は園内の業務について最終責任者としての自覚をもって活動しています

園長の役割として、園内業務や対外交渉、けがや事故発生時の最終判断、保護者対応、さらには、出納に関することなどについての最終責任者であることを明言しています。また、毎日13時15分から実施している打ち合わせで、職員から報告を受け、そのつど指示を出し、適切に対処しています。また、主任は園長を補佐するとともに、保育の計画作成の責任者を務めるとともに、職員の勤務シフトを作成しています。園内には組織体制表がありますので、園長や主任を含めた職務分担表も作成しておくことで、職員の理解もさらに深まることでしょう。

重要な案件は評議員会や理事会に諮られ決定します

園内に関する重要な案件は、法人本部の事務局に園長が提出し、評議員会(理事長、議長、有識者のメンバー)や理事会(理事長、理事、監事がメンバー)で話し合い、決定するしくみです。園長は会議に出席し、案件のねらいや意義について説明をしています。そして、案件の決定後は、「ドリーム検討会議(職員会議)」や日々の打ち合わせなどで、職員に伝えています。保護者には園便りの号外版を作成し配付しています。今年度の当園の案件としては、保育室内の大改造がありました。

2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

長時間預かる子どもたちに優しく接するように職員一人ひとり心がけています

「保育マニュアル」の中に法人の倫理綱領についての記載があります。そこには、プライバシーに関する守秘義務、人権尊重、職員の身だしなみ、望ましい生き方をめざすなど5項目から作成されています。また、就業規則の「服務規律」の項目の中に、保育士として、一般社会人としての規範や倫理についての記載があります。園長は「ドリーム検討会議」の中で、子どもたちに接する態度について話し合い、夜間まで園内で生活する子どもたちにできるだけ、一人ひとりの職員が優しく接することを心がけるように話し合っています。

当園を含めた法人全体の透明性を高める工夫をしています

外部機関による福祉サービス第三者評価は従来から受審し、その結果報告書は玄関のカウンターに置き、保護者に読んでもらうようにしていました。今回は園長が変わって初めての第三者評価ですが、報告書が完成したら、やはり同様に玄関の棚に置く予定です。また、年4回発行している法人の情報誌に当園の記事もあり、それは、公民館や役所に置いてもらい地域住民にも読んでもらうようにしています。なお、ホームページには当園を含めた法人全体の財務諸表が載っています。

中学生や卒園生をボランティアとして受け入れています

地域の中学生在が、体験ボランティアとして毎年来園しています。また、大学生や高校生になった卒園児が、夏休みや春休みを利用してボランティアに来てくれます。受け入れの担当は園長が行っています。園には、法人作成の「視察・体験・ボランティア・実習生等」のマニュアルがあり、そのほかボランティア受け入れの意義について、中学生、一般ボランティアそれぞれ記載された文書があります。園長はそれらの書類のもとに、受け入れの際、「ボランティアの方へ」という文書を渡し、諸注意を説明してから活動に入ってもらっています。

カテゴリ3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
保護者からの意見や要望には迅速に対応していくようにしています 法人の「苦情解決制度の基本綱領」というマニュアルがあります。そのマニュアルのもと園の苦情解決のしくみを整え、苦情受け付け担当者、苦情解決責任者、3名の第三者委員と苦情解決の流れなどを玄関脇に掲示しています。また、意見箱も玄関脇に設置しています。最近の例として、子ども同士のトラブルや行事の日程などについての要望がありました。このような要望に対してはできるだけ迅速に対応をするように心がけています。なお、園長は連絡帳や口頭で意見や要望を伝えてもらうことを大事に考えています。		
園長による保護者の個別面接を実施し、要望を把握するように努めています 保護者の要望を聞き取るために、当園では園長による個別面談を9月から11月の2か月の中で実施しています。一人30～40分ほど時間をとり、その中でいろいろな保護者の考え方や要望、悩みなどを聞いています。面談で受ける相談には、仕事と子育ての両立についてその家庭特有の事情もあり、職員全員で話し合い、家庭の状況に配慮した細やかな対応に努めた経緯もあります。		
市の園長会に参加し、行政の動向や課題などを把握するようにしています 市の園長会に参画しています。園長会では、まず市の職員から保育制度の変更点や職員の処遇改善などの説明があり、行政の動向を把握しています。次に、グループに分かれ共通のテーマを検討する時間があり、最近では幼保小の連携がテーマになっています。また、保育の動向は社会福祉協議会や保育雑誌などで情報を得ています。ただ、地域の福祉ニーズについては、当園が夜間保育を実施しているという特性もあり、一般の保育園と同じような収集方法ではなかなか得られないのが実状です。今後は、工夫して取り組む考えです。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している 評点(○○●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している 評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(○○●●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にすることの取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-4の講評

3～5年先を見通した中・長期計画の作成を期待します

年間事業計画が作成されています。そこには、園児の健康管理、地域の子育て支援事業、職員研修、避難訓練、経費関係、今後の動向などが記載されています。ただ、3～5年先を見通した中・長期計画の作成にはいたっていません。施設整備面、保育内容、保護者支援、地域支援など、園として重要な運営に関しては単年度だけでは、結果が得られないものもあります。優先順位をつけ、先を見通した計画で、園長や主任のみならず全職員が目標を明確にして保育にあたるためにも、収支計画をとまなう中・長期計画の作成を期待します。

具体的な目標数値を決め、目標達成へ向けて活動することも大事なことです

組織体制図があり、各クラスの担当のほか、地域担当、防犯・防災担当、情報担当、食育担当などの役割をもち活動しています。そして、それぞれ計画を策定して進めています。ただ、計画推進に当たっては目ざす目標と達成度合いを明示しながら進めるものもあります。具体的には、水道光熱費や消毒剤、トイレトーパーなどの間接費は前年度の実績を参考にして省力の目標数値を設定して、全員で協力しながら進めていきます。そして達成した省力化による費用を保育に特化した絵本や玩具などの購入に当て、保育をより充実させていく考えもあります。

安心・安全に対しては万全の体制で臨んでいます

「危機管理マニュアル」があります。そこには、火災、地震、不審者侵入、職員連絡網などが細かく記載されています。自衛消防組織体制表が作成され、園長を隊長として、避難誘導係、消火係、連絡係などが細かく決められています。また、毎月避難訓練を実施し、詳細な訓練記録があります。不審者訓練では、不審者の侵入を想定したロールプレイング方式による対処訓練を子どもたちの前で実施しました。さらに、感染症マニュアルを作成し、夜の12時まで預かる夜間保育園として、最大の安全対策を心がけています。

カテゴリ5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(○○●●●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-5の講評

園が求める職員の人材像として「優しさ、協調性、向上心」を挙げています

当園が求める人材像は「優しさ、協調性、向上心」を備え、さらに「さまざまな家庭の事情を考慮して、利用者の視点で考え、行動する人」「自己中心的な保育を疑い、子どもと心を通い合わせる柔軟な保育を旨とする人」を期待しています。そういった職員を求め、公共の職業紹介機関などの利用や、アルバイトで働いていた学生への声かけをしています。採用にあたっては、新卒の場合は筆記と実技(実際に現場に入って子どもと遊ぶ)試験、面接後採用し、経験者の場合は3か月の使用期間を設けます。職員配置では、経験のバランスに配慮しています。

個人別研修計画を立て、職員の勤務体制に配慮するなど計画的な受講の実現に期待します

園長は職員一人ひとりに面談を行い、園に対する希望やどんな研修を受けたいかといったことを聞いています。今年度はベビーマッサージやマイナンバーに関する講習などを職員が受けました。ただ、夜間保育という性格上、職員の希望する研修を必要十分に満たすことは勤務時間的に現状では難しい状況にあります。しかし、園長は研修の必要性を痛感していますし、職員も何とか研修を受けたいという前向きな姿勢ですので、今後時間のやりくりをしてみんなが受講できるように工夫して、計画的に実施していくことを期待します。

職員は年2回の自己評価を実施し、その結果が賞与に反映されるしくみがあります

年2回、賞与の時期に自己評価表を提出します。自己評価表は、勤務成績の領域が2項目、専門性の領域が11項目あり、9段階の評価点(5が平均点レベル)で自己評価し、それぞれの項目にある個人意見欄に評価した理由を記述するようになっています。各職員が記入した自己評価表を園長に提出し、園長がその結果を踏まえ、賞与に反映させるしくみです。就業状況においては、有給休暇の消化率は必ずしもよくありませんが、基本的には残業はなくすようにしています。なお、職員の慰労として旅行や懇親会などを実施しています。

7			カテゴリ7		
情報の保護・共有			サブカテゴリ1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況		7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点(〇〇〇)		
評価	標準項目				
● あり ○ なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		○ 非該当		
● あり ○ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		○ 非該当		
● あり ○ なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		○ 非該当		
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目				
● あり ○ なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		○ 非該当		
● あり ○ なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		○ 非該当		
● あり ○ なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		○ 非該当		
● あり ○ なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		○ 非該当		
カテゴリ7の講評					
<p>パソコンにはパスワードを設定しています</p> <p>現在パソコンは3台あり、それぞれ園長用、経理用、情報担当用で、使用するためのパスワードが設定されています。また、会計関係の書類は鍵付きの棚に収納し、そのほかの書類は書類棚に整理、保管しています。事務室には常時会計担当の職員がいますが、万が一のために、すべての棚に鍵をつけて保管できるようにすると、なお良いでしょう。年度途中で保護者や子どもの状況が変わった場合は、主任が中心になって関係書類の更新をしています。</p> <p>個人情報保護の基本方針を職員、保護者ともに理解しています</p> <p>法人作成の「個人情報の保護に関する基本方針」があります。そこには、収集する目的、第三者への提供の制限、個人情報の管理など8項目が記載されています。さらに、「個人情報の取り扱いマニュアル」として、各種情報は見えるところに置かない、家庭に関する守秘義務、外部からの問い合わせには答えないなど6項目の注意事項が記載されています。これらの書類で職員には個人情報保護と守秘義務について周知しており、保護者に対しても「個人情報の保護に関する基本方針」の文書を配付して、情報管理の徹底をお知らせしています。</p>					

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者との園長面談を全員に実施するようになりました

従来から保護者と園長との個人面談はありましたが、個人的に相談したい保護者だけがきていました。しかし、園長は夜間保育の保育園とすることを踏まえて、より家庭とともに子どもを健全に育成していくためには、家庭での生活状況や家庭での子どもの様子、あるいは、保護者の思いなど直接話し合っていくことが大切と考えています。そこで、今年度から全員の保護者に実施することにしました。面談結果は、子どもの様子、生活状況、園への要望、感想などの柱でまとめ、今後の参考のために職員に伝えています。なお、現在は、100%面談というわけにはいきませんが、今後も続けていく計画です。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

ワンフロアの保育室に、年齢に応じたスペースを作り、落ち着いた環境を提供しました

昨年度までは0歳児のスペースとワンフロアのスペースで保育をしていました。異年齢保育としては良いのですが、常時1～5歳児がいっしょにおり、さらには、学童保育の子どももいっしょのフロアなので、子どもも職員も落ち着けない状態でした。そこで、どのように改善したら子どもたちが落ち着いて遊べるようになるのか話し合い、改善計画として、0歳児のスペース、1～3歳が主として遊ぶスペース、4、5歳児のスペースとそれぞれのスペースを作ることにしました。部屋の造りについては、遊び心とアイデアがいっぱいの空間になるよう外部の設計に依頼し、今年度実現しました。具体的には各仕切りは低い木製のパーテーション、0歳児のスペースは畳で壁はトンネル式になっていてそこでも遊べます。さらにミニハウスを用意し、階段を昇ったところはロフトを設定しました。そして全体的に木で統一されて温かな雰囲気を醸しだしています。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

常勤、非常勤、派遣職員すべての職員が情報を共有して、保育にあたるようになりました

当園の職員は、常勤、非常勤、派遣職といった構成になっています。従来は、常勤職員が中心になり運営をしてきました。したがって、非常勤職員や派遣職員は、担当した職務についてのみ従事していました。結果として、情報の共有ができていなかったり、園の考え方や仕事に関する考え方に統一性が保たれない状況がありました。これではスムーズな運営が難しいということで、今年度から常勤職員、非常勤職員、派遣職員が同じように情報を共有して、保育をすることを徹底しました。具体的には、園長による職員面接は全職員に実施し、各種会議の記録は「打ち合わせノート」で、全職員が必ず見るようにしました。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

毎年、園長が予算を立て、それを毎月チェックをしています

毎年の予算計画は、園長が単年度の事業計画とともに作成しています。その年度計画の中に、次年度の主な支出予定についても、大口な予算として食堂・浴槽工事や施設整備積立て金などを挙げています。また、予算の計画作成には公認会計士によるアドバイスも受けています。このような形で、園長は年間計画の中で、支出の予算と実績を毎月チェックをしています。現在は、黒字経営で順調に推移しています。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の意向の把握や地域子育て支援事業の充実へ向けていくことを期待します

年間の行事計画で人気のある縁日ごっこに、時間設定について要望が出たため、職員会議で検討中です。また、地域の子育て支援に関しても「スターウォッチング」を中止するなど、支援活動の広がりが今一つです。現在、福祉サービス第三者評価での保護者の意見や地域支援活動の充実へ向けて話し合いをしている途上です。したがって、現在のところ改善に向けた取り組みにはいたっていません。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリ1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している <input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ1の講評	
	<p>園のホームページで園の紹介をしています</p> <p>園についての情報を伝える手立てとしてホームページとパンフレットを作成しています。ホームページには、園の概要や保育園での生活について掲載しているほか、地域の在宅子育て家庭のための子育て支援に関する情報も掲載しています。パンフレットには、園の概要、行事、一日の流れや子育て支援について掲載するほか、運営の基本方針や夜間保育ならではの多様な保育体験など8項目にわたり園が大切にしていることや保護者の就労を支える園であることを掲載しています。</p> <p>区のホームページや情報誌などを通して近隣の方に園の情報を伝えています</p> <p>これから入園を希望する人に市内にどのような保育園があるかを知らせる手立てとして、市が作成しているホームページがあり、園の情報を伝えています。ホームページでは、市内で唯一、夜間保育を実施している園であることなども伝えています。また、地域の方が参加できる行事に運動会とふるさと祭り(系列施設合同の祭り)があり、園の外看板にポスターを掲示したり、案内を記した子育て情報紙を近隣の店に置いて知らせています。なお地域の園長会では各園の情報交換をしています。</p> <p>見学者の希望に合わせて対応しています</p> <p>園の見学希望は電話で受け付け、つごうの良い日にちに来てもらうようにしています。年間10名ほどの方が見学に来ています。見学には園長が対応しています。見学者には日中の子どもたちの活動の様子を見てもらうことが多いのですが、夕方の見学など急な希望にも応じています。見学者には園のパンフレットや子育て情報紙を配付し、園の活動や概要について説明した後、園内の見学をしてもらい理解をもらっています。</p>	
	サブカテゴリ2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している <input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>サービスの開始にあたり子どもの情報を収集し、全職員で共有し保育を行っています</p> <p>サービスの開始にあたり、一人ひとりのつごうに合わせて保護者との個人面談と入園説明を実施しています。あらかじめ保護者に配付していた健康調査票と家庭の状況について記載する家庭調査票を提出してもらい、担当の職員が個人面談表に基づいて子どもの生活状況や健康状態について確認するとともに、今後の希望などについて聞いています。これらの情報は、ドリーム検討会議(職員会議)や毎日の打ち合わせで全職員に周知させています。</p> <p>サービスの開始にあたり基本的なルールについて説明しています</p> <p>入園説明では、入園のしおりに基づき、園の特徴として、夕食や入浴があること、24時まで預かっていること、家族的なかかわりを大切にしていることなどを説明するほか、災害時の対応、保健や薬の取り扱いなどについて保護者に説明しています。また、意見や要望を園の職員や園以外の第三者に相談できること、食物アレルギーのある子どもに給食を提供する場合には、医師の診断に基づいた生活管理指導表が必要であることを説明しています。子どもの写真・ビデオ撮影、緊急時の通院などに関してはそのつど保護者の同意を得ています。</p> <p>子どもの不安な気持ちに配慮し、徐々に慣れるよう進めています</p> <p>入園後は子どもが無理なく園に慣れるように、保育時間を徐々に増やしていく短縮保育を実施しています。慣れ保育は保護者の就労の状態や子どもの様子を見ながら、保護者と相談して進めています。利用開始直後は環境の変化による子どもの不安が少なくなるよう、個人面談を通して家庭での子どもの様子を把握するなど保護者との連絡を密にして、職員間の引き継ぎを十分に行っています。転園や退園にあたっては、園で保管している連絡ノートの綴りや作品集を渡しています。</p>		
サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		12 / 12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身状況や生活状況をファイルにまとめています

子どもの家での心身状況や生活状況に関する情報は、毎年提出してもらう家庭調査票や連絡帳から得ています。園での様子は、0～2歳児は毎月、3～5歳児は期ごとに発達経過記録に記載しています。これらの記録は個別ファイルに綴り、職員はいつでも見ることができるようにしています。入園時に提出される健康調査票、健康診断、歯科健診や身体測定の記録は健康の記録にまとめています。個人面談の記録は個人面談記録に記載しています。

指導計画は定期的に見直しをして作成しています

保育課程は年度末にクラスごとに振り返りを行ったうえで次年度の骨子を作り、主任がまとめを行い園長が最終確認をしています。年間指導計画は年度初めに立てています。年齢ごとに各期の目標を立て、養護、教育、食育、健康・安全、保護者への支援など多岐の項目にわたり計画しています。月間指導計画は月末に、週間指導計画と日々の指導計画は週末にクラスごとに立て、担当する職員全員が把握しています。0～2歳児クラスでは、個別の月間指導計画を立てています。

保護者と相談しながら保育計画を進めています

各クラスの保育の進め方について、年度初めの保護者懇談会などで保護者に伝えています。保護者からの要望や意向については、面談や日ごろの会話から聞き取り、保育計画に生かしています。トイレトレーニングなどは、日ごろの会話や連絡帳を通して保護者と連絡を取りながら進めています。園では毎日、職員との打ち合わせを行い、保護者からの連絡事項や子どもの様子を伝え、全職員が情報を共有しながら保育を行っています。計画を急に変更する場合には、園長に相談することになっています。

サブカテゴリ5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ5の講評		
個人情報の保護と子どもの羞恥心や生活習慣に配慮しています 子どもの写真を情報誌などに掲載することについては、掲載を予定している写真を保護者に提示して、そのつど同意書を提出してもらっています。子どもの発達に関する情報を専門機関から得る場合には、保護者を通して得るようにしています。子どもの羞恥心への配慮として、着替えをする場合には上下一度に脱がない、入浴の介助は女性保育士が行う、排泄の失敗があったときにはほかの子どもにわからないように着替えをするなどの配慮をしています。生活習慣などについては入園時の面接で聞き取り、個別に対応しています。		
人権を守ることに、行動規範と法人の倫理綱領を職員に周知しています 日常の保育は子ども一人ひとりを尊重して行っています。子どもの人権を尊重することを確認する資料として、就業規則の服務規程や法人の倫理綱領に守秘義務や人権擁護について記載されており、登降園時受け入れマニュアルには、あいさつや心地よい対応を心がけることなどについて記載されています。職員の入職時に読み合わせを行い、その後は個別に振り返りを行っています。今後は、全職員で研修を行ったり、振り返りの機会を持たれるとさらに良いでしょう。		
虐待防止の体制ができています 「虐待防止マニュアル」が作成されています。虐待発見のための観察や心配がある場合の対応などについて記載されています。マニュアルは職員会議などで読み合わせをして全職員に周知しています。虐待を受けている疑いのある子どもがいた場合には、園長が市の担当課に報告することになっています。その後は、児童相談所など関係機関と連携して解決するしくみが作られています。なお、虐待マニュアルの中に、身体的な虐待や心理的虐待など、虐待の種類も記載し職員に周知されると、より理解が深まるでしょう。		

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

9/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー6の講評

業務に関するさまざまなマニュアルを用意しています

だれもが同じように業務に携わることができるように、マニュアルを用意しています。登降園時の受け入れマニュアル、健康管理マニュアル、救急対応マニュアル、事故対応マニュアル、危機管理マニュアル、衛生マニュアルのほか、虐待防止、個人情報保護、苦情解決、実習生・ボランティア受け入れマニュアルなどがあります。しかしながら、現在、マニュアルが全職員に周知されていない様子が見受けられます。今後は、さらに見やすいものに整備され、定期的な見直しと読み合わせをされると良いでしょう。

保育の質の向上のため、園内研修を行っています

職員の保育の質を高める取り組みとして、園内研修を行っています。今年度は、園長が中心となり定期的にケース会議を行いました。外部の研修に参加したときには報告書を提出していますが、現在は、あまり外部の研修を受講できていないのが実情です。今後は、保育の質を高めるために、計画的に研修受講をする取り組みをされるとさらに良いでしょう。職員はわからないことが起きた際は、園長や主任に相談したり、複数担任制で保育を行い、先輩保育士からいつでも助言を受けられる体制を整えています。

保育の安全と質を高める体制を整えています

地震、火災を想定して、毎月防災訓練を実施しています。年1回は消防署や隣接する系列施設と合同で訓練を実施しています。また、災害に備えて、年1回引き取り訓練を行っています。職員連絡網を備え、法人の自衛消防隊が組織されています。事故が起きた際は、事故報告書を記載して検証を行い、事故に至らないよう対策について検討しています。救命講習は保健担当の職員を中心に半数ほどの職員が取得しています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
評点(〇〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○ 非該当
● あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○ 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達の過程や生活環境に配慮しています</p> <p>子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などの情報は、入園の面接や期ごとに記す発達経過記録から得ています。日々の家庭での様子は登園時の保護者との会話や連絡帳から得て、ドリーム検討会議(職員会議)や日々の打ち合わせの中で職員が話し合い共有しています。子どものけんかに関しては、0~2歳児クラスでは職員がかみつきなどに注意して見守っています。また、3~5歳児クラスでは、けがをしないよう注意しながら、できる限り自分たちで解決するよう見守るようにしています。</p> <p>子どもが主体的に物にかかわることができるよう環境に配慮しています</p> <p>今年度は保育室に、かねてから職員と考案していた3階建ての木製のミニハウスを作りました。1階にはトンネルのような入り口があり、ままごとのできる部屋が設けられ、2階と3階にも小部屋が設けられています。そのほか広い保育室をしきっていくつかの空間を作り、年齢ごとや少人数で集まってゆったりと遊ぶことのできる場所を作りました。それにより、好きな遊びを選んで落ち着いて遊ぶ姿が多く見られるようになり、遊びの幅が広がり、より主体的に遊ぶことができるようになりました。</p> <p>互いを尊重するかかわりを大切にしています</p> <p>少人数の保育園であるため、異年齢で過ごすことが多く見られます。異年齢で活動することにより、年下の子どもが年上の子どものまねをしたり、年上の子どもが年下の子どもをいたわる姿が見られます。4、5歳児は集団での活動を行うことが大事な時期であるため、日中は隣接する系列園で過ごしています。特別な配慮が必要な子どもの保育にあたっては、個別に支援計画を立てて保育日誌に記載し、できる限り周りの子どもといっしょに過ごすことができるよう配慮しながら保育を進めています。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
評点(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
● あり ○ なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○ 非該当
● あり ○ なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		○ 非該当
● あり ○ なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○ 非該当

評価項目2の講評

連絡帳や会話を通して子どもの様子を保護者と伝達し合っています

子どもの家庭での様子は登園時に保護者から直接聞いたり、健康の様子は連絡帳を通して確認しています。登園時に保護者から得た子どもの情報は職員用の打ち合わせノートに記載し、日々の打ち合わせ時に申し送りを行い、全職員が目を通すことになっています。日中の子どもの様子は日報の申し送り欄に記し、お迎え時には保護者に子どもの様子を伝えるようにしています。連絡帳は全園児が使用しており、家での様子や園での様子のやり取りのほか、子どもの健康状態や保護者の要望などを把握しています。

基本的な生活習慣が身につくよう配慮しています

食事のときには、4、5人でテーブルを囲み、職員も子どもといっしょに食事をとっています。食事のマナーなどについて伝えることができるほか、話しながら楽しく食事をしています。排泄は一人ひとりのタイミングに合わせて誘導しており、トイレトレーニングは保護者と相談しながら進めています。毎日入浴を行い、身体の清潔に配慮しています。午睡については起床時間や子どもの体調に合わせて時間を調整しています。4歳児は年度半ば以降、5歳児は年度初めから就学に向けて午睡をなくしています。

子ども個々の生活リズムに合わせて活動しています

朝8時から深夜24時まで開園しているため、園で長時間過ごす子どもが多い状況です。0～2歳児保育では、個々の生活リズムに合わせて、授乳、食事、排泄、遊びがゆったりとできるよう配慮しています。3歳児はそれぞれの生活のリズムに合わせてながらも、小グループで活動できるよう配慮しています。4、5歳児は9時30分より17時まで、隣接する系列園に移動し集団の中で過ごしています。5歳児は剣道、4歳児は太鼓の指導を専門講師から受けるなどさまざまな体験をしています。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当

評価項目3の講評

保育目標の実現を見据えて保育計画を作成しています

全クラスについて、年間指導計画、月間指導計画、週間、日ごとの指導計画を立てて保育を行っています。指導計画の作成にあたっては、園の保育目標である「生命を大切に子ども」「自分で考え行動する子ども」「人の気持ちがわかる子ども」を踏まえて策定しています。隣接する系列園で飼育しているポニーややぎなどの世話をしたり、かぶとむしの飼育をしたり、環境設定を工夫してコーナー遊びを行うなど、保育者を含め多くの人とかかわりたくさん遊ぶことを大切にしています。

それぞれの年齢に合わせて遊びに集中できるよう工夫しています

広い保育室をしきりを使ってほど良い広さの空間に分けることで、子どもたちはさまざまな遊びのコーナーを作り、ゆったりと集中して遊んでいます。異年齢で遊ぶほか、年齢ごとに遊びを行ったり製作をすることも多く取り入れています。3階建てのミニハウスは子どもたちがごっこ遊びをするのに格好の遊び場所です。4、5歳児は日中は隣接する系列園で過ごし、集団遊びを楽しんでいます。

季節が感じられる取り組みを行っています

天気の良い日には、できる限り散歩に出るようにしています。近隣には趣の違う公園があり、自然豊かな公園も多く、花を見たり、どんぐりを拾うなど季節に合わせて自然に触れ合っています。隣接する系列園には人工芝を敷いた園庭があり、さまざまな遊具やアスレチックなどで遊ぶことができます。春には園外保育、夏には4歳児と5歳児がそれぞれ自然豊かな場所にキャンプに行っています。秋にはいも掘り、冬には大根の収穫を体験するなど季節が感じられる取り組みを行っています。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 保育所の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当

評価項目4の講評

季節を感じながら楽しく過ごせるよう行事を実施しています

七夕、もちつき大会、クリスマス、節分など季節や暦に合わせて、さまざまな行事を行っています。系列の施設合同でふるさと祭りを行い、縁日ごっこや盆踊り、灯籠の点灯や花火を楽しみました。みんなで協力し、やり遂げることのできる行事として、運動会があります。2歳までが参加できる小運動会と全員が参加する大運動会を実施し、かけっこやダンスなどを楽しんでいます。お店屋さんごっこも楽しみの一つで、アクセサリ屋、おもちゃ屋などお店を決めて作品を作ったり、アイドルやタクシー運転手も登場しました。

子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事を行っています

子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事として、4、5歳児がそれぞれ系列園といっしょに行っているキャンプがあります。4歳児は、テーマを設けて例えばネイチャーゲームなどを楽しみ、5歳児は川遊び、キャンプファイヤー、カレー作りなどを行い、日常ではできないたくさん体験をしています。年度末には5歳児が発表会を行い、マーチングバンド、劇、日ごろ行っている体操やダンスを発表しています。毎月、お誕生会を行い、子どもの成長を祝っています。

保護者が楽しく参加できるよう配慮しています

年度初めの保護者会で年間行事予定表を保護者に配付し、行事について説明しています。毎月発行している園だよりにも行事予定を掲載しています。保護者が参加できる行事のときには、そのつどお知らせを配付しています。地域の方々が参加できる行事として、小運動会、大運動会、隣接する系列の施設と合同のフェスティバル、ふるさと祭りがあり、地域の方々との交流を楽しんでいます。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	○ 非該当

評価項目5の講評

長時間過ごす子どもがゆったりと過ごせるよう配慮しています

園は24時までの保育を行っており、保育時間の長い子どもが多いため、子どもがのんびりゆったりと過ごすことができるよう心がけています。子どもが不安な気持ちになったときにもいねいに対応できるよう職員配置を手厚くするなどの配慮をしています。18時30分ごろから夕食の時間になりますが、全クラス合同で夕食をとったりいっしょに過ごすことで、自然に異年齢のかかわりができています。また、夕食後は入浴を行い、子どもたちは、ごろごろするなど自由に過ごしています。

職員間で子どもの様子を伝達し、保護者に伝えています

登園時に保護者から得た子どもの情報や連絡帳に記載された子どもに関する情報は、職員用の打ち合わせノートに記載し、全職員が目を通すことになっています。また、毎日13:15から職員の打ち合わせを行い、その日の子どもの様子や健康状態などについて情報交換しています。日中の子どもの様子は日報の申し送り欄に記し、お迎え時に保護者に子どもの様子を伝えるようにしています。利用者調査では、「お迎え時に園での子どもの様子を職員がていねいに話してくれる」との声があり、その取り組みが保護者に評価されています。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	○ 非該当

評価項目6の講評

楽しく食事ができるようさまざまな工夫をしています

隣接する系列園の栄養士と園の栄養士が合同で献立を立て給食を提供しています。昼食と夕食を提供しているため、薄味になるよう配慮し、旬の野菜を取り入れ、和食を中心にして提供しています。子どもたちが楽しく食事ができるよう、七夕にはそうめん、節分には恵方巻き、クリスマスには子どもたちの好きなから揚げやスパゲッティ、お正月にはおせち料理を出すなど行事食を工夫しています。年度末には5歳児のリクエストメニューを提供しています。お誕生会の夕食はバイキング形式で提供しています。

食に興味・関心が持てるよう、野菜の収穫や調理保育を行っています

子どもたちが食に興味・関心が持てるよう、年間計画を立てて食育を行っています。季節や行事に合わせて行事食を提供するほか、調理保育として、とうもろこしの皮むき、お団子、スイートポテト、クッキー、ポップコーン、ケーキ作りなどを行っています。また、秋にはじゃが芋やさつま芋の収穫を行い芋煮会をしたり、冬野菜の大根の収穫を楽しみました。そのほかの取り組みとして、絵本や紙芝居で栄養について伝えています。体調不良の子どもにはお粥を提供するなどの配慮をしています。

昼食、夕食ともに親子いっしょに食べる機会があります

保護者には、毎月献立表を配付しています。「体の調子を整える」「血と肉になる」「力や体温のもとになる」といった働きのある食材とカロリーを記載し、行事食についての記事も掲載するなど、保護者にも食に関心を持ってもらえるよう配慮しています。親子いっしょに食事をする取り組みとして、昼食は参観日に、夕食は年4回とる機会があります。食物アレルギーのある子どもがいる場合には、医師の診断による生活管理指導表に基づき除去食を提供するしくみがあります。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○ 非該当

評価項目7の講評

感染症やけがの予防に努めています

感染症を予防するため、日ごろから手洗いやうがいを励行し、絵本や紙芝居を使って、手洗い、うがい、歯磨きなどについて保健指導をしています。職員は、けがをしたときや転んだときなどに、どうしてそのようになったのかを子どもといっしょに考えることで安全に関するルールを教えます。乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症の予防について玄関に掲示し、また感染症が発症した場合にも玄関に掲示し保護者に注意喚起しています。薬の預かりについては、医師の処方箋を提出してもらったうえで預かっています。

子どもの健康を把握し、病気やけがに対応できるよう体制を整えています

健康診断を0～2歳児は毎月、3～5歳児は年2回行い、歯科健診を全クラス年2回、身体測定を全クラス毎月実施しています。身体測定や健診の結果は、健康の記録に記載し、在園期間を通して把握することができるようにしています。また、結果は保護者にも伝えています。近隣の病院の連絡先をまとめ、急な発熱やけがにすぐに対応できるようにしています。乳幼児突然死症候群(SIDS)を予防するため、0歳児は5分ごとに、1歳児は10分ごとに呼吸チェックを行っています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当

評価項目8の講評

保護者同士が交流できる機会があります

保護者の子育てや就労時間への配慮として、夜間24時までの保育を行っており、遅い時間の登園や緊急の場合の延長保育の申し込みも受け付けています。園では「保育と育児を考える週間」「育児と介護を考える週間」を設け、保育参観、保護者懇談会、子どもの発表会を実施しています。これらは保護者同士が交流し、家庭での子どもの様子を話し合う機会となっています。個人面談は全保護者を対象に、期間を設けずそのつど実施しています。

職員と保護者の信頼関係を深める取り組みを行っています

職員と保護者の信頼関係を深める取り組みとして、保育参観、保護者懇談会、個人面談を実施しています。保護者懇談会では、子どもの成長や園での子どもの様子を保護者に伝えるだけでなく、保護者の要望を聞く機会ともなっています。園の行事が終わった後などにアンケートを実施して保護者の要望を聞く取り組みをされるとさらに良いでしょう。

保育に関して保護者と共通の考えが持てるよう配慮しています

子どもの発達や育児などについて保護者と職員が共通の認識を得る取り組みとして、年2回、隣接する系列園で実施している育児講座に参加しています。この講座では外部から講師を招き、育児について学んでいます。夜間保育という特性を踏まえ、保護者との連携をより強くすることが望ましいと園長は考えており、育児講座は今後も開催していく予定です。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	○ 非該当

評価項目9の講評

地域の子育て家庭への支援として一時保育や体験保育、交流保育などを実施しています

地域の在宅子育て家庭への支援として、子育て相談、一時保育、保育体験、交流保育、出前保育を行っています。1、2歳児の体験保育は月1回5組限定で実施し、そのほか予約制で1～3歳児対象の体験保育を行っています。また、1歳未満と就学前の子どもに分けて交流保育を実施し、子どもだけでなく保護者同士の交流の場ともなっています。

子育て情報誌や育児講座などの内容を見直して次回のプログラムに生かしています

系列の施設共通の情報誌を年2回、園独自で作成した子育て情報誌を年4回発行しています。子育て情報誌には、園のイベントのお知らせ、給食の人気メニュー、絵本の紹介などを掲載しています。地域の公民館や近隣のお店にも置いて地域に広く配布できるよう努めています。子育て情報誌の作成や育児講座の計画は、子育て支援係の職員が中心となって担当し、情報誌の発行や育児講座が終了した後は反省会を開き、次回のプログラムに生かしています。

地域の方や地域の在宅子育て家庭の親子も園行事に参加できます

地域の方や在宅子育て家庭の親子は、園行事に参加することができます。園行事は年度初めに発行する子育てひろばのリーフレットやホームページなどでお知らせしています。今年度は、お話し会とコンサートを実施して、地域の方や親子にも参加してもらいました。また、秋に実施している「育児と介護を考える週間」では公開保育を行って実際の保育を見てもらうとともに、1週間毎日違う行事を企画し、参加者といっしょに人形劇などを楽しむ機会を設けています。このほか育児相談も受け付けています。

調査対象

保育園を利用している31世帯を対象に調査を実施しました。児童数は34名です。兄弟姉妹の居る世帯は1世帯として扱いました。利用者総数に対する回答者割合は58.1%でした。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は保護者から直接評価機関へ郵送する方法によりました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。

利用者総数

31

共通評価項目による調査対象者数

31

共通評価項目による調査の有効回答者数

18

利用者総数に対する回答者割合(%)

58.1

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が13人(72.2%)、「満足」が4人(22.2%)で「満足」以上の回答は合計17人(94.4%)でした。

自由意見には、「安心して子どもを預けられます。保育士さんともよく話をする事ができ、アットホームな雰囲気なのが良い点だと思います」「夕食までしっかりとらせていただけること。遅くまでみてくださり助かります」など、園への信頼や感謝の気持ちが見られます。

項目別に見ますと、「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」はいずれも、「はい」が100%でした。次いで、「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか」「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか」「子どもの気持ちを尊重した対応がされているか」など7項目について、いずれも「はい」が94.4%と高い数値になっています。

一方で、「外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか」では、「はい」が33.3%と低い数値になっています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	17	1	0	0
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%でした。 自由意見には、「おいしいようでたくさん食べています」「献立を見るかぎりバランスがとれていると思います」などの声がありました。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	18	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 コメントはありませんでした。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	17	0	0	1
「はい」が94.4%、「無回答・非該当」が5.6%でした。 自由意見には、「24時までの保育はとてありがたいです」「いつも柔軟に対応してくれているので助かっています」などの声がありました。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	15	3	0	0
「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%でした。 自由意見には、「していると思うがわからない部分もある」「緊急時の対応について詳しく知りたい」などの声がありました。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	12	6	0	0
「はい」が66.7%、「どちらともいえない」が33.3%でした。 自由意見には、「全員の希望通りにはいかないのでは、しかたないと思います」「土、日に集中するので、仕事のつごうで楽しめないことがあります」などの声がありました。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	17	1	0	0
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%でした。 自由意見には、「信頼関係があると信じたいです」「毎日、子どもの様子を話してくれます」などの声がありました。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	17	1	0	0
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%でした。 自由意見には、「職員の方による気がします」という声がありました。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	18	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「少々古い建物ですが整っていると思います」という声がありました。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	16	2	0	0
「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%でした。 自由意見には、「人によります」という声がありました。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	17	1	0	0
「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%でした。 自由意見には、「少しぶつけたことでも伝えていただいているので安心してお願いできます」「すぐに迎えに行けないときでもちゃんとしてくれている」などの声がありました。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	15	3	0	0
<p>「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%でした。 自由意見には、「信頼しています」という声がありました。 一方で、「一日長いのでいろいろあると思うのですが、報告がないので様子がわからず不安に思っています」という意見もありました。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	17	1	0	0
<p>「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%でした。 自由意見には、「じっくりと話を聞く姿勢に心から信頼しています」などの声がありました。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	16	2	0	0
<p>「はい」が88.9%、「どちらともいえない」が11.1%でした。 自由意見には、「今のところ該当することがないのでわかりません」という声がありました。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	17	1	0	0
<p>「はい」が94.4%、「どちらともいえない」が5.6%でした。 コメントはありませんでした。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	15	2	0	1
<p>「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が11.1%、「無回答・非該当」が5.6%でした。 自由意見には、「経営層が対応してくださり感謝しております」「そのような場面は特にはないのですが、ほかの方への対応は適切に思えます」などの声がありました。</p>				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	6	7	3	2
<p>「はい」が33.3%、「どちらともいえない」が38.9%、「いいえ」が16.7%、「無回答・非該当」が11.1%でした。 自由意見には、「特別伝えられていないが、職員に要望をお願いすれば対応してくれるので問題はない」「そういうことになったことがないので、わからない」などの声がありました。</p>				